

# 第6学年 体育科（保健領域）学習指導案

指導者 西尾 有礼

男子8名 女子10名 計18名

- 1 単元名 病気の予防 飲酒・喫煙・薬物乱用の害  
 2 単元について

- ・ 6年生の時期は精神的に大きく成長するときであり、興味・関心も多種多様になってきている。そのような子供たちにとって、喫煙や飲酒は生活の中での身近な問題であると思われる。また、薬物についても、マスクやインターネットなどを通じて身近なものになってきているといえる。薬物の乱用は近年低年齢化しており、特に有機溶剤については入手・所持することは違法ではなく、ホームセンターやホビーショップなどでも入手可能であることから安易に乱用が始まり、それが覚せい剤に進行する場合も多い。
- ・ 本学級には、刺激的なことやおもしろそうなことへの興味・関心が強い子供が多い。学習では、理科の実験活動などに大変意欲的で、目を輝かせて実験に取り組む。反面、しっかりと考えてから物事に取り組むことが苦手な子供もおり、火や薬品などの危険物を使用するときは特に安全面に気をつけて指導している。  
 「飲酒の害」の学習では、成長期の体にアルコールを摂取することの悪影響について指導した。しかし、子供たちの反応は飲酒のもたらす影響について軽くとらえ、自分の体にもたらす悪影響や自分自身の健康についてもまだ実感がなく、安易にとらえているように感じられた。また、喫煙についても、漠然と「体に悪いからよくない」「肺がんになるからよくない」と考えている子供が多かったが、外部講師を招き、詳しい統計資料や映像資料をもとに学習したことで、「なぜ喫煙がいけないのか」について詳しく考えることができ、「絶対に煙草は吸いたくない」という強い意志をもつことができた。これらを踏まえて本時では、薬物乱用に対して興味本位で手を出してしまうことなく、きっぱりと拒絶していくために、発育期の体に害のあるものは何か、どのような危険性があるのかをしっかりと理解し、今の時期に自分で自分の健康な生活を考えて自主的に意思決定、意思表示していけるようにする必要がある。

**仮説1：健康的な生活習慣を実践するための知識・理解を深めるための工夫**

本単元では、発育期のからだに害のあるものについて、その危険性を実感できるようにするために実験活動や映像資料を取り入れる。特に有機溶剤について、実際に実験や映像を通して自分の目で確かめることによって、子供たちは有機溶剤の危険性についてより深く理解することができるものとする。基礎的な知識・理解を深めることにより、健康の大切さに気付き、健康な体を保つことへの意欲を高めていくことができると考える。また、学級活動の時間を利用して、周囲からすすめられたときの対応の仕方をロールプレイすることで、効果的に断る方法を身につけることができるようにする。

3 単元の目標

- ・ 自分の健康は自分で守ることを意識し、薬物などをすすめられても自分の考えで断れるようにする。  
 【運動や健康・安全への関心・意欲・態度】
- ・ 薬物乱用のきっかけについて知り、それらへの効果的な対処法を考えることができる。  
 【運動や健康・安全への思考・判断】
- ・ 薬物の種類や、薬物の乱用が心身に及ぼす害を理解することができる。  
 【運動や健康・安全への知識・理解】

4 全体計画（ 体育科保健4時間 ・ 学活1時間 計5時間 ）

<p style="text-align: center;"><b>病気の予防</b></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">病気の起こり方 病原体と病気 エイズの起こり方</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">生活習慣が原因となる病気 むし歯や歯周病の起こり方</p> </div>	<p style="text-align: center;"><b>病気の予防（4時間・学活1時間 計5時間）</b></p> <p>飲酒の害 喫煙の害（喫煙防止教室） 薬物乱用の害</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「薬物乱用」の言葉の意味と薬物の種類、健康への影響について知る。</li> <li>・ 有機溶剤で発泡スチロールを溶かす実験をして、薬物乱用による体への影響を理解する。（本時 4/5時）</li> </ul> <p>効果的な断り方のロールプレイ</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5 本時の学習

(1) 目標

薬物が体に及ぼす影響の怖さを知り、主体的に健康な生活を実践しようとする強い意志をもつことができる。

(2) 展開

時配	学習活動	教師の指導・援助 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価</span>
5分	<p><b>1 薬物の種類とその危険性について振り返る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シンナー、麻薬、覚せい剤などがある。</li> <li>・ シンナーは、手に入りやすいので、薬物乱用の入り口になることが多い。</li> <li>・ 薬物はからだに心に大きな障害を起こす。</li> <li>・ 一回の乱用でも死に至ることがある。</li> <li>・ 犯罪や事故など、社会的問題の原因になる。</li> <li>・ 薬物乱用は一度始めるとやめられなくなる</li> <li>・ 心もからだも依存してしまうようになる。</li> <li>・ 成長期の体への影響は大きく、一度破壊された脳や体は二度と元に戻らない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬物の種類にはどんなものがあったか、どのような危険性があったかを問いかける。</li> <li>・ 薬物の種類、危険性を板書、プロジェクター映像で提示する。</li> <li>・ 精神的依存、肉体的依存について取り上げ、「一度の乱用でも取り返しのつかないことになる」ことを確認しておく。</li> </ul>
<p>薬物は私たちの体にどんな影響をもたらすのだろうか</p>		
20分	<p><b>2 薬物（シンナー）が体に与える影響について、画像と実験で確かめる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 脂肪が溶けて崩れてしまっている。脳もこんなふうにはぼろぼろになっていくのか。</li> <li>・ 肉の色が変わっている。</li> <li>・ 発泡スチロールがすぐ溶けてしまったよ。</li> <li>・ シンナーは太いプラスチックも溶かしてしまうんだ。</li> <li>・ こんなふうにして脳が溶けて縮んでいくのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有機溶剤につけた脂肪、肉、スチロール樹脂のサンプルを提示する。（プロジェクターを併用し、拡大投影する。）</li> <li>・ 有機溶剤（ラッカーシンナー）と、発泡スチロールをいれた実験ボトルを用意し、溶剤の中で溶けていく様子を観察させる。</li> <li>・ ガラス瓶の破損、溶剤の漏れなどの危険がないように、教師による実験を観察させる。</li> <li>・ 実際に萎縮した脳の写真を用意し、掲示する。</li> </ul>
11分	<p><b>3 薬物乱用経験者の様子をVTRで見る。</b></p>	<p>薬物が体に及ぼす影響について理解することができたか。【知識・理解】</p> <p>健康な生活を守るために薬物の危険な誘惑から身を守ろうとする強い意志をもつことができたか。</p> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】 (発言・ワークシート)</p>
9分	<p><b>4 わかったことや感想をワークシートにまとめ、発表する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の体や脳がぼろぼろになるのは怖い。</li> <li>・ スチロールがあっという間に溶けていった。本当に溶けていくことがわかって怖い。</li> <li>・ 絶対に手を出してはいけないものなんだ。</li> <li>・ 「一度だけなら」という気持ちが乱用につながるがよくわかった。</li> <li>・ すずめられても、私は絶対に断わる。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書く活動を通して、薬物の恐ろしさをより深く理解できるようにする。</li> <li>・ 机間指導により、考えを深められるよう言葉かけをする。</li> </ul>

(3) 授業の視点

薬物が体に及ぼす危険性をより理解し、健康な体を守ろうとする強い意志をもたせるために取り入れた溶解実験や教材提示のしかたは適切であったか。